

関寛齋

関寛齋は幕末から明治時代にかけて活躍した医師です。

文政13(1830)年、現在の市内東中の農家に生まれ、18歳で佐藤泰然の経営する佐倉順天堂に入門、26歳の時に銚子で開業します。親交のあったヤマサ醤油当主の濱口梧陵の支援を受けて長崎に遊学し、オランダの名医ポンペにより最新の医学を学んだ後、同門の呼びかけにより徳島藩医となりました。

戊辰戦争では官軍の医者として従軍、官軍敵軍の区別なく負傷兵の治療にあたったといわれています。戦後は藩医を辞し、一介の町医者として徳島で30年以上を過ごしました。

明治35(1902)年に72歳で一念発起し、北海道陸別の斗満に入植、財産の全てをつぎ込んで開拓に身を捧げ、82歳で激動の生涯を閉じました。

①関寛齋評伝

	書名	著者名	出版社	請求記号	出版年	備考
1	関寛齋 幕末から明治初期の名医で晩年を北海道開拓に捧げた人	吹野 恭一／編	東金市郷土研究愛好会 東金関寛齋顕彰会	289 ㇵ C289 ㇵ	2021	
2	評伝関寛齋 1830-1912 極寒の地に一身を捧げた老医	合田 一道	藤原書店	289 ㇵ C290 ㇵ	2020	
3	蘭学医・関寛齋 平成に学ぶ医の魂	梅村 聡 長尾 和宏	エピック	C289 ㇵ	2011	
4	関寛齋 生誕180周年記念誌	関寛齋生誕180周年記念展実行委員会	関寛齋生誕180周年記念展実行委員会	C289 ㇵ	2010	
5	足寄郡陸別町の祖・関寛齋(最後の蘭医)	東金市歴史研究愛好会八街郷土史研究会	東金市歴史研究愛好会	C28.9 ㇵ	2007	
6	関寛齋物語	吉井 永	多田屋	289 ㇵ C289 ㇵ	2003	
7	関農場 希望の大地に夢拓く	陸別関寛齋翁顕彰会	関寛齋斗満入植100周年記念事業実行委員会	C289 ㇵ	2002	
8	伝記 関寛齋物語	奥山 秀峰	奥山秀峰	289 ㇵ C289 ㇵ	2001	
9	関 寛 齋	鈴木 要吾	大空社 関 又一	C289 ㇵ	1998 1936	
10	みみずのたはこと	徳富健次郎	福永書店	914 ト	1933	
11	みみずのたはこと 上・下	徳富健次郎	岩波書店	B914 ト	1977	p287～p317(上) p414～p462
12	医の名言	荒井 保男	中央公論社	C490 ㇿ	1995	p206～p211
13	関寛齋	陸別町教育委員会	陸別町教育委員会	C28.9 ㇵ	1994	

14	原野を拓く 関寛 開拓の理想とその背景	陸別町役場広報 広聴町史編さん 室	陸別町	289 ㇵ C289 ㇵ	1991	
15	渭山 第18号	徳島県立城東高 等学校	徳島県立城東高 等学校	C289 ㇵ	1990	関寛齋と城東高 校 p54~63
16	人生余熱あり	城山 三郎	光文社	C289 ㇵ C916 シ	1989	ある老医師の生 き方p122~p155
17	千葉県歴史の人物	荒川 法勝	暁印書館	213 ㇿ	1988	p104~p106
18	東金市史 5		東金市役所	213 ト 5	1987	p386~p415
19	関寛齋 最後の蘭医	戸石 四郎	三省堂	C289 ㇵ	1982	
20	生きる喜 四巻	大久保玄一		C28.9 オ 4	1981	関寛齋と大久保 玄一p37~p38
21	街道をゆく 15	司馬遼太郎	朝日新聞社	915 シ 15	1981	関寛齋のこと 可憐な町
22	蘭医・関寛齋	戸石 四郎	崙書房	C28.9 ㇵ	1980	
23	関寛齋の人間像	鈴木 勝	千葉日報出版局	289 ㇵ C289 ㇵ	1979	
24	関寛齋	鈴木 要吾	関又一	C289 ㇵ	1936	
25	コレラを防いだ男 関寛齋	柳原 三佳	講談社	28 ㇵ C28 ㇵ	2022	

②関寛齋が著したもの

1	命の洗濯 復刻	関 寛	関寛齋100周年記 念事業実行委員会	289 ㇵ	2012	
2	斗満獨吟	白里関寛	陸別関寛翁顕彰会	C289 ㇵ	2009	
3	目さましくさ(復刻版)	関 寛齋	陸別関寛翁顕彰会	C289 ㇵ	2005	
4	白里歌集	陸別関寛翁顕彰 会	陸別関寛翁顕彰会	C289 ㇵ	2000	
5	関寛齋遺訓集	関寛翁顕彰会	関寛翁顕彰会	C289 ㇵ	1998	
6	寛齋日記 奥羽出張病院日記を中心として	関 寛齋	陸別町教育委員会	C28.9 ㇵ	1982	

③小説になった関寛齋

1	あい 永遠に在り	高田郁	角川春樹事務所	F 幼 C913.6 ㇿ	2013	
2	斗満の河 関寛齋伝	乾 浩	新人物往来社	F ㇿ C913.6 イ	2008	
3	彩雲 関寛齋と海部花	モリテル	創栄出版 星雲社	C289 ㇵ	2005	p4~p62

4	胡蝶の夢	司馬 遼太郎	新潮社	F シバ	1997 1979	
5	野のひと 関寛斎	米村 晃多郎	春秋社	C289 セ C289.1 セ	1984	

④ 評論

1	あかえぞ	あかえぞ編集委員会	陸別町文化協会	C905 ア	1984- 2012	第4、7、10、14、 15、17、18、23～ 29号
2	あかえぞ 第26号	あかえぞ編集委員会	陸別町文化協会	C905 ア	2009	関生三 ほか
3	郷土研究 陸別町郷土研究会会報 第7号	陸別町郷土研究会	陸別町郷土研究会	C289 セ	1999	特集 寛斎セミナー報告
4	書評「鈴木勝著 関寛斎の人間像」	浅井利勇	千葉県医師会	C28.9 セ	1980	千葉県医師会会報32巻2号より

⑤ その他

1	関寛斎	陸別町関寛翁顕彰会	陸別町関寛翁顕彰会	C289 セ	2016	
2	吾が歩み 続	関 静吉	山本書店	C28.9 セ	1987	
3	関寛斎遺品目録	東金市立東金図書館	東金市立東金図書館	C28.9 セ	1982	
4	吾が歩み	関 静吉	太陽出版	C28.9 セ	1980	
5	関寛斎翁顕彰碑		関寛斎顕彰会	C28.9 セ	1980	
6	春一番の人 -関寛斎小伝-	戸石 四郎/作 佐久間 弘/演出		C28.9 セ		劇団日曜会北海道陸別町公演台本
7	関寛翁 研究紀要1(資料編)	白里研究グループ		C28.9 セ	1978	

※ 請求記号が「C」からはじまる本は、郷土資料室の本になります。郷土資料室は2階にあり、複数所蔵しているもののみ貸出できます。1冊しかない資料も複写はできますので、職員にお気軽におたずねください。